

2019年12月2日

各位

会 社 名 ピジョン株式会社  
 代表者名 代表取締役社長  
 北澤 憲政  
 (コード番号：7956 東証第1部)  
 問合せ先 執行役員経営戦略本部長  
 松 永 勉  
 03-3661-4204 (直通)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2019年9月2日付にて公表した2019年12月期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年12月期通期連結業績 (2019年2月1日~2019年12月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	106,200	20,000	20,000	14,300	119円40銭
今回修正予想(B)	99,000	16,800	16,900	11,800	98円54銭
増減額(B-A)	▲7,200	▲3,200	▲3,100	▲2,500	—
増減率%	▲6.8	▲16.0	▲15.5	▲17.5	—

※前回発表予想(A)の値は、期初に発表した当期期初計画値と同一となっております。

また当社は、2019年度より決算期を1月31日から12月31日に変更しております。

そのため当期は経過期間となり、同一基準での比較が出来ないため、前期実績の記載は省略しております。

#### 2. 修正の理由

当期第3四半期累計期間の連結業績につきましては、国内ベビー・ママ事業におけるインバウンド需要の顕著な減少に加え、自然災害および出生数の減少幅拡大、またシンガポール事業においても、中東地域向け販売の鈍

化、インド国内における経済不況・需要減等、全体的に厳しい経営環境、業績推移となっており、連結売上高は前年同期実績を下回りました。また、営業利益、経常利益および親会社株式に帰属する四半期純利益も、前期比減収および売上原価率の上昇に伴う売上総利益の減少、さらには販売費及び一般管理費の対売上高比率上昇などにより、前年同期実績を下回りました。

なお、上記経営環境の変化に関しては、当期下期に入り期初想定よりも一段と厳しさを増しております。これに伴い当期第3四半期累計期間の連結業績は社内計画を下回る水準となっており、今後もこの傾向は継続するものと見込んでおります。

上記の当期第3四半期累計期間の連結業績および今後の見込を踏まえ、上表に記載のとおり、従来発表の当期通期連結業績予想値について下方修正を行います。

なお、今回の業績予想修正の前提となる、当期下半期における想定平均為替レートにつきましては、1米ドルは108.00円程度（当期第3四半期累計実績109.12円、期初計画109.00円）、中国元は15.30円程度（同15.89円、16.00円）を見込んでおります。

※ 上記の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、今後の様々な要因により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上